

「イタリアの迷信」

今回は、イタリアの迷信を紹介します。

傘を家の中で広げない

家の中で傘をさすことは不幸の前兆とされていて、なぜかという、家で傘が必要ということは屋根に問題が起きているということであり、それは屋根を修繕できないぐらい極貧になることを意味するからです。



傘を家の中で広げない!

「13」と「17」の数字

「13」はキリストの最後の晩餐の時、13人が食卓に座っていたことに関係があるといわれています。その後、ユダの裏切りのせいでイエス様が亡くなったので不幸の数字になっています。従って、イタリアでは食べる時、できるだけテーブルに13人が座っていることを避けるように気を付けている人がいます。ローマ数字で17は「XVII」と書き、これを並び替えると「VIXI」（私は生きた）つまり（私は死んでいる）という意味になるので17は縁起が悪い数字です。13日・17日は家から出ない、新しいことを始めないなんていう人も決して珍しくありません。



4月から企画振興課(西有家庁舎)に異動しました。遊びに来てください!

黒猫が横切った道路

黒猫が前の道を横切ると悪いことが起こる象徴とされています。中世の時、黒猫が魔法や悪魔と結びついていると信じられていたためです。

食塩をこぼさない

昔、塩は贅沢品でありかなり高価なものだったため塩をこぼすと浪費することになるとされていました。

鏡を割らない

鏡を割ると不幸が7年続くといわれています。なぜかという、ローマ帝国時代、新しい人生は7年毎に始まるというふうに使われていたからです。塩と同じように鏡も高価だったため、一度割ると新しいものを購入するのに多額のお金を払わないといけませんので、貧乏になり不幸になると信じられています。

一般的に効果的だと信じられている厄除けは金属のものに触ることです。または、コルネットと呼ばれる唐辛子状のお守りや馬蹄に触ることです。金属もお守りもない場合、人差し指と中指を交差させたり、男性は自分の大事なところに手をやったり、女性は左胸に触れたりします。

【お問い合わせ】

☎050-3381-(各図書館下4桁)

- ・深江図書館 5125
- ・布津図書室 5134
- ・有家図書館 5046
- ・西有家図書室 5155
- ・北有馬図書室 5164
- ・原城図書館 5078
- ・口之津図書館 5186
- ・加津佐図書館 5119

*詳しいことは、館内ポスターや各図書館でご確認ください。

南島原市図書館 検索

親子で読書! 南島原市図書館だより vol.107

南島原市図書館

きてみるね!

イラスト・題字:長谷川義史



図書館紹介「原城図書館」

こんにちは。皆さんのおかげを持ちまして原城図書館は開館10年目に入りました。

利用者の皆さんと共に図書館を支えてくれたのが本です。現在の蔵書数は約10万冊、開館当時の貸出数はのべ80万冊を超えました。これまで図書館を支えてくれた本を大切に、また新たな利用者の皆さんとの出会いを楽しみにして、今後もがんばっていきますので宜しくお願いします。

各図書館行事とお知らせ

▼加津佐図書館

- ・「工作教室」
- ☑5月23日(土) 午後2時~3時
- ・「読書通帳」
- ☑5月中継続中

▼口之津図書館

- ・「てんとう虫おはなし会」
- ☑6月13日(土)
- (午前の部) 10時30分~11時30分
- (午後の部) 13時30分~14時30分

▼北有馬図書室

- ・「図書館バッグに絵を描こう!」
- ☑6月14日(日) 午後2時~
- ☑10人(要申込) ☑250円(バッグ代)

▼有家図書館

- ・「大人向け講座 ~豆本づくり~」
- ☑5月17日(日) 午前10時~(2時間程度)
- ☑10人 ☑5月10日(日)

*予約が必要な行事もあります。詳細は各図書館へお問い合わせください。

図書館員オススメの本

絵本

ごんごろうじゃがいも

いわざゆづこ/作

童心社/出版

「ごんごろうごんごろう」や「すくすくすんすん」など、リズム感のある言葉に合せて、じゃがいもが育ち、実をつける様子が描かれています。声に出して読むと、じゃがいもの成長や収穫の喜びがより感じられて、楽しい絵本です。



風のベーコンサンド

柴田よしき/著

文藝春秋/出版

自分を変えるため、東京を脱出し高原にカフェを開いた奈穂。経営や高原暮らしに悪戦苦闘しつつも、カフェには様々な事情を抱えた人が来るようになり、胸のうちに書かれていて、本当に食べたくなるものばかりです。



こんにちは!消費生活センターです

南島原市消費生活センター ☎0957(82)3010

消費生活センターのご紹介 ~安心の相談窓口~

南島原市消費生活センターは平成23年6月に開設しました。しかし、どのような機関なのかご存じない人も多いのではないのでしょうか。そこで今回は南島原市消費生活センターについてご紹介します。身近な相談窓口として、お気軽にお問い合わせください。



●どんなところなの?

市民の消費生活の安定と向上を目的に設置された行政機関です。商品や役務(サービス)の購入契約、販売方法に関する消費者トラブルの相談・苦情を受け付け、解決のお手伝いをしています。相談は無料です。

●どのような相談があるの?

10代から高齢者まで、幅広い年代の人から、訪問販売や電話勧誘販売をきっかけとした悪質商法や、インターネットトラブルに関する相談を受け付けています。賃貸アパートや金融サービスなど、ご相談は多岐に渡ります。

●どのように相談するの?

ご相談の約6割は電話で、残りは直接センターにお越しいただいています。電子メールでのご相談も受け付けていますが、回答は電話で行います。

●どんな対応をしてもらえるの?

相談員がトラブルの状況を詳しく聞き取り、公正な立場で解決に向けて情報提供や助言を行い、場合によってはあっせんも行います。センターでの解決が困難な事案は、市主催の相談会の利用や、より適切な専門機関をご紹介します。

●本人が相談できない時は?

ご家族や周囲の人からのご相談も受け付けています。解決のためにご本人の意向も確認します。

●秘密は守られるの?

秘密は固く守ります。安心してご相談ください。



ゴールデンウィークは...原城図書館であそぼう!

5月2日(土)~5月6日(水)(休館日を除く)に、原城図書館の視聴覚室を開放します。今年もみんなのぬりえで大きなこいのぼりを作ります。期間中はいつでも遊べる、わなげやクイズコーナーがありますよ。日替わりで工作教室をしますのでお楽しみに!!